資料３－７

風評の影響の払拭に向けた取組について

令和7年4月25日

観光庁

国土交通省
観光庁

Japan Tourism Agency　Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

国内外の旅行者等に向けた広報

①(一社)日本旅行業協会(JATA)会員旅行会社(約1500社)、(一社)全国旅行業協会(ANTA)会員旅行会社(約5400社)及び教育旅行関係者に対して継続して情報発信等を実施。

○広報誌によるALPS処理水の正確な情報発信

・観光庁と経済産業省が連携し、JATA及びANTAの広報誌に、風評払拭の取組について記事を掲載。
（JATA会報誌：令和6年11月掲載、ANTA NEWS：令和7年1月掲載）
⇒今後も業界内機関紙、メールマガジン等に、ALPS処理水に関する情報を継続的に掲載。

▲ANTA NEWS 2025 1･2月号掲載記事

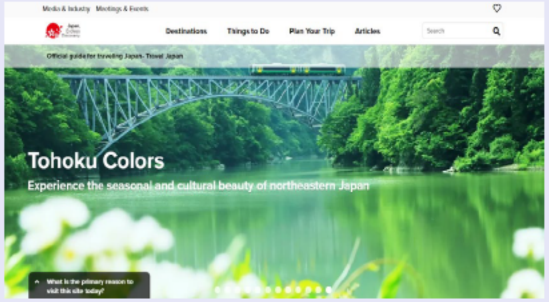
○現地に足を運んでいただき安心の共有を図る取組

・観光庁、経済産業省や福島県が連携し、旅行会社向けの福島第一原子力発電所等の視察を実施し、福島県へのツアー商品造成を促進。約70社が参加。
（令和３年度11月、２月、令和４年度10月、１月、令和６年12月に実施）
⇒今後も旅行商品造成に向けてツアーを継続的に実施。

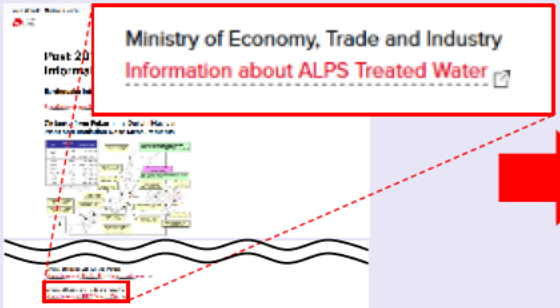
・教育旅行関係者を対象とした視察（オンライン開催含む）を実施。約345名が参加。
（令和３年10月～令和７年１月までに30回実施）
⇒今後も修学旅行等の誘致促進に向けて、教育旅行関係者のツアーの実施等の支援を継続的に実施。

▲福島第一原子力発電所1号機の視察の様子

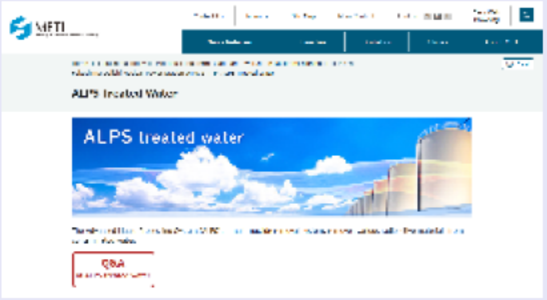
②令和3年6月より、日本政府観光局(JNTO)グローバルサイトに、経済産業省のALPS処理水のポータルサイトへのリンクを掲載し、日本に関心のある外国人旅行者に向けた正確な情報発信を継続して実施。



▲JNTOグローバルサイトTOPページ



▲3.11情報ページにリンクを掲載



▲経済産業省のALPS処理水のポータルサイトへ誘導

福島県における観光関連復興支援事業

福島県における観光復興を促進するため、同県が福島県観光関連復興事業実施計画に基づいて実施する①滞在コンテンツの充実・強化、②受入環境の整備、③プロモーションの強化、④観光復興促進のための調査を支援し、国内外から福島県への誘客を図る。

ホープツーリズムの取組について

（ホープツーリズム参加実績:令和３年度9,848名、令和４年度17,806名、令和５年度16,476名）

- 世界で類を見ない複合災害を経験した唯一の場所である福島での**「ホープツーリズム（※）」**は、**浜通り地域が中心**となる「福島ならでは」の観光コンテンツ。
  ※震災・原発事故の被災地域をフィールドとした福島県が推進する学びの旅のこと。
- 令和４年度は、従来の**教育旅行や企業等の研修旅行といった団体旅行向けの取組に加え**、団体の枠組みに属さない**サイクリングやワーケーションとの組み合わせによる個人旅行客を対象とした取組の推進により、ホープツーリズムの更なる誘客を拡大**。
- 令和５年度からは、**インバウンド向け（個人旅行含む）ホープツーリズムの取組を強化**。

滞在コンテンツの充実・強化

- 県外の教育関係者や企業を対象としたモニターツアーを実施し、教育・研修のプログラム及びモデルコースを造成・磨き上げ

ホープツーリズムのプログラム造成のためモニターツアーを実施（大熊町 中間貯蔵施設）

受入環境の整備

- ホープツーリズム及びサイクリングに関する知識を兼ね備えたガイドの養成
- 多言語ガイドを育成

浜通りの魅力を発信するサイクルガイドの養成講座を実施

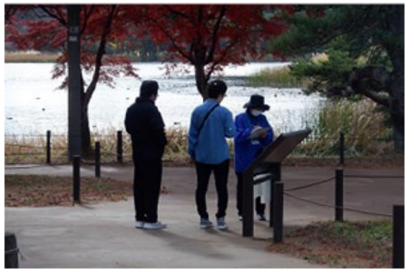
プロモーションの強化

- 台湾・ベトナム・タイ・豪州での現地窓口設置を通じた現地旅行会社への商品造成の働きかけ
- WEBサイトやSNS、旅行博における福島の魅力のPR

タイで開催の旅行博に出展し福島の魅力をPR

観光復興促進のための調査

- 浜通りにおける受入環境の整備の状況に関する調査の実施
- 浜通りを含む主要観光地点におけるアンケート調査の実施



風評の実態把握や課題抽出のため調査を実施

ブルーツーリズム推進支援事業

観光庁

- 令和４年度に「ブルーツーリズム推進支援事業」を新設し、風評が特に懸念される沿岸部における海の魅力を体験できるコンテンツの充実や海にフォーカスしたプロモーション等の取組を総合的に支援する。
- 令和６年度の採択実績として、岩手県は５件、宮城県は６件、福島県は２件、茨城県は３件を採択した。

岩手県：久慈市、田野畑村、（一社）宮古観光文化交流協会、大槌町、陸前高田市
宮城県：（一社）気仙沼市観光協会、南三陸町、石巻市、（一社）七ヶ浜町観光協会、仙台市、名取市
福島県：相馬市、南相馬市
茨城県：ひたちなか市、大洗町、鹿嶋市

海水浴場等の受入環境整備支援

（取組事例：大洗町）

大洗サンビーチマリンスポーツ利用者のため、駐車場のアスファルト化や水陸両用車いすの更新など利便性の向上を図る。

大洗サンビーチ

コンテンツの充実支援

（取組事例：田野畑村（たのはたむら））

「みちのく潮風トレイル」と「サッパ船アドベンチャーズ」を組み合わせたコンテンツを新たに造成。

サッパ船アドベンチャーズ

プロモーションの実施支援

（取組事例：仙台市）

震災後初の深沼海水浴場の再開に合せてガイドマップ作成と様々なイベントも開催。多様な広告を展開し、海浜エリア一体の周遊を促進する。

深沼海水浴場

ブルーフラッグ認証取得支援

（取組事例：大槌町（おおつちちょう））

吉里吉里海岸（きりきりかいがん）海水浴場のブルーフラッグ新規取得に向け、バリアフリー化や、住民向け説明会の開催など、認証に必要な環境整備と取得申請を行う。

水陸両用車椅子のイメージ